

自衛官採用

航空学生 採用案内

JAPAN MARITIME SELF-DEFENSE FORCE
JAPAN AIR SELF-DEFENSE FORCE



キミの翼を大きく広げる仕事が、ここにある。

日本の大空と海を 守る仕事があります。



自衛隊の活躍は、国内で、
そして世界で高い評価を得ています。

自衛隊が担う第一の使命は日本の平和と独立を守り、

国の安全を保つことにあります。

海上及び航空自衛隊の航空部隊では、

各自衛隊の任務に対応して、P-1哨戒機等による監視飛行、

F-15戦闘機等による領空侵犯に対する措置、

航空輸送、航空救難等の任務を遂行しています。

また、これらの装備、人材を活用して、

地震や豪雨等の自然災害、大規模な事故災害等の事態に対しても、

捜索、救助、輸送、復旧活動等の任務を遂行します。

近年では、海賊対処行動、派遣情報収集活動、国際緊急援助活動等に

見られるように、活躍の場は海外にもどんどん広がっており、

これらの活動は、世界から高く評価されています。

かけがえのない地球、美しい国、そして愛する人のために……。

私たちはあらゆる事態に迅速に対応すべく、

日々の訓練に励んでいます。

CONTENTS

.....

海上自衛隊航空学生の概要.....	03
海上自衛隊航空部隊.....	05
海上自衛隊航空学生のキャリアアップ.....	07
航空自衛隊航空学生の概要.....	09
航空自衛隊航空部隊.....	11
航空自衛隊航空学生のキャリアアップ.....	13



海上自衛隊・航空自衛隊の パイロットを目指す皆さんへ

大空を翔る夢にチャレンジ

航空学生を志願する学生の多くは、少年時代から大空への憧れを持っています。映画、テレビ等の世界のヒーローと自分を重ね合わせてみたり、幼いころに父親に連れられて見物した航空ショーがきっかけだったり、あるいは家族にパイロットやその経験者がいたり、志すこととなった理由はさまざまです。しかし、最終的には誰もが自衛隊のパイロットとしての使命感を胸に、大空に羽ばたいていきます。決して平坦な道のりではありませんが、自力で航空機を操縦できた日のことは、一人前のパイロットとなっても記憶から消えることはありません。そして、その当時の教官への感謝、仲間との固い絆……。それらが一人ひとりの支えとなって、任務を託す翼とともに大空へ飛び出していくのです。

チャンスは今しかない

航空学生とは、高等学校卒業生又は中等教育学校卒業生（見込みを含む。）、及び高等学校卒業と同等以上の学力があると認められる男女を対象にした、海上自衛隊・航空自衛隊のパイロット等を養成する制度です。

「航空学生」として入隊後は、全員が学生宿舎で規則正しい団体生活を送りながら海上自衛隊においては1年4か月、航空自衛隊においては2年間の基礎教育を受け、続いて飛行訓練を中心とするそれぞれの段階の操縦課程に進みます。航空学生の先輩たちは、入隊の動機について「パイロットになりたかった」、「小さい頃から空を飛ぶことに憧れていた」と語ります。「チャンスは今しかない！」と航空学生の道を決断した彼らは、日夜、勉学や訓練に励み、「夢」・「憧れ」の実現に向け日々、挑戦しています。



海上自衛隊航空学生の概要



Q 最短で何歳くらいでパイロットになれますか？

A 高校卒業後に入隊した場合、最短20歳で航空機に乗りはじめ、23歳でパイロットの資格を取得することができます。



海の若鷲を目指して

パイロット・戦術航空士までの道のり

海上自衛隊航空学生とは、海上自衛隊の航空機のパイロットや戦術航空士*を養成する制度です。山口県下関市に位置する「海上自衛隊小月教育航空隊」に航空学生として入隊後、約4年間の教育、飛行訓練を経てパイロットや戦術航空士の資格を取得します。

さらに固定翼パイロット、回転翼(ヘリコプター)パイロット、戦術航空士それぞれのコースごとに各部隊で訓練を積み、約2年を経て幹部に任官します。

*戦術航空士(Tactical Coordinator)は、航空機の戦術活動に関する計画・指揮・調整等を担当し、戦術飛行時の中心的役割を果たします。P-1哨戒機等では、パイロットか戦術航空士かどちらか階級の上位の者が機長となります。

チームワークという絆

責任感や、リーダーシップ、仲間を大切にする気持ち、団結心は、将来、機長やパイロットとして活躍することを期待されている航空学生にとって不可欠な素養です。たとえばP-1哨戒機では10人前後のクルーが搭乗します。しかも海上自衛隊航空部隊の任務では、警戒監視、捜索救難等、比較的長時間の飛行を続けることが少なくありません。大勢のクルーを率いて任務を遂行していくためには、いかに彼らと円滑な関係プレーをとれるか、コミュニケーションを図ることができるかが、非常に重要なポイントになります。

待遇等

- 身分 特別職国家公務員
- 初任給 月額：198,800円(高卒)／209,500円(大卒)(地域手当を除く。)に加え、宿舍費は無料で、食事、制服・作業着・ワイシャツ・靴その他の衣服類、寝具等も支給又は貸与されます。
※初任給は、学歴・職歴等により異なります。
※大卒者の初任給は、複数年かけて217,000円まで引き上げられる予定です。
- 手当 航空手当、乗組手当、扶養手当、住居手当等
- 昇給 年1回
- 賞与 期末・勤勉手当(ボーナス)年2回(6月・12月)
- 年金等 退職手当、老齢厚生年金、退職等年金給付、若年定年退職者給付金、障害厚生年金、公務災害補償等
- 福利厚生 防衛省共済組合施設(宿泊、野球場、テニスコート等)

国家資格の取得

自衛隊における操縦士資格とは別に、固定翼要員は計器飛行課程修了時、回転翼要員は操縦士回転翼基礎課程修了時に、それぞれ試験により、事業用操縦士の資格を取得することができます。

防衛省海上幕僚監部 人事教育部 人事計画課募集推進室
〒162-8803 東京都新宿区市谷本村町5-1 TEL 03-3268-3111(代表) 内線 50256

海上自衛隊航空部隊

大海原で発揮される最新テクノロジー



海上自衛隊のミッションとフィールド

四方を海に囲まれた日本。この雄大な海が海上自衛隊のステージです。様々な航空機をはじめ最先端のテクノロジーが凝縮された装備を駆使して、国の安全保障に直接関わる重要な任務を遂行します。

海上自衛隊の組織は、護衛艦・航空機・潜水艦等からなる「自衛艦隊」と、大湊、横須賀、舞鶴、呉、佐世保の5か所を拠点とした「地方隊」に大別することができます。ここで海上自衛隊員たちが、約50種にも及ぶ職域に従事しています。

また、海上自衛隊は、海賊対処や南極観測協力等、国際的な貢献も果たしており、国内外から高い評価を得ています。

艦艇や水上からの離発着等を含む多彩な任務

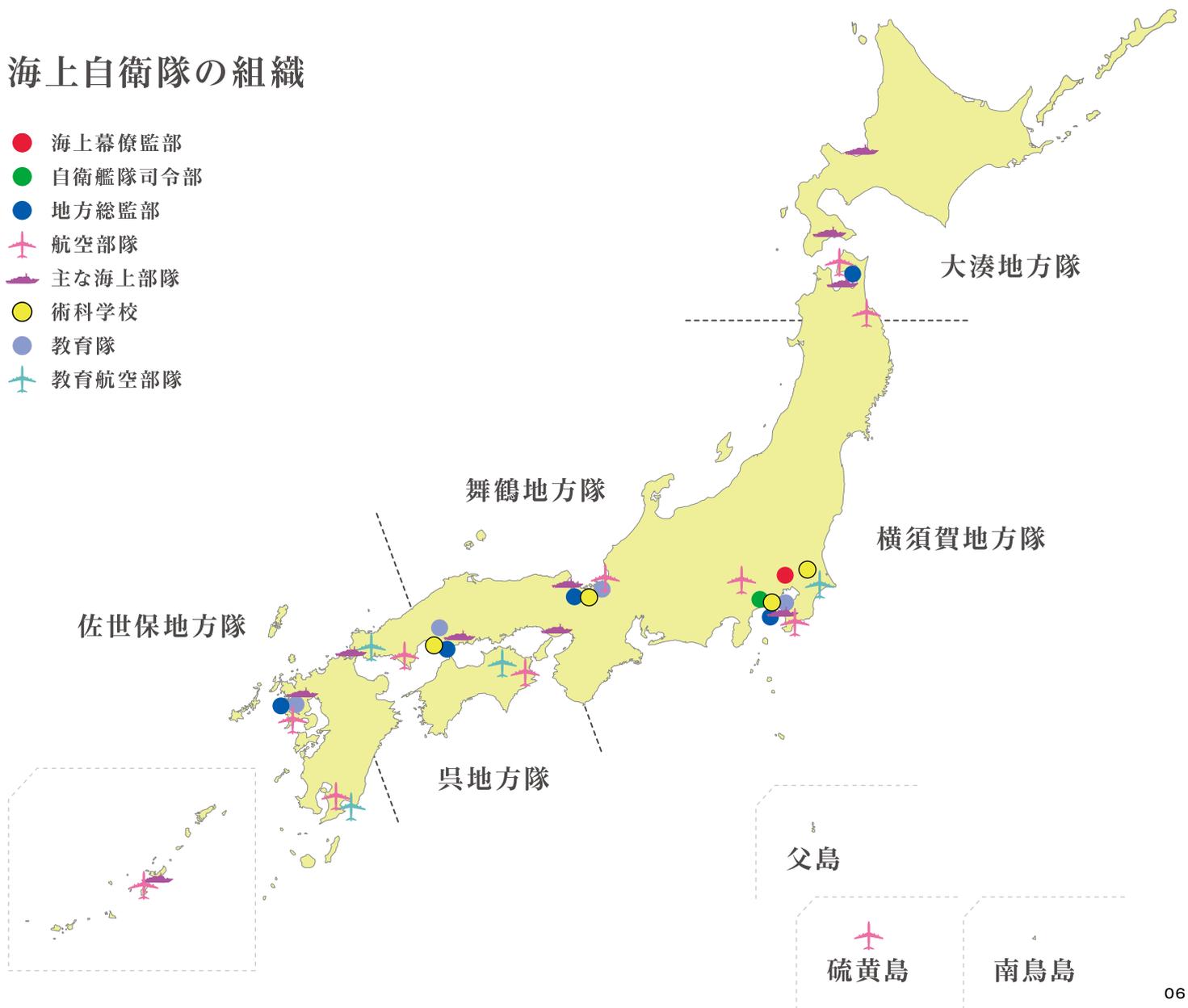
海上自衛隊が所有する航空機には、固定翼哨戒機、救難飛行艇、電子戦データ収集機、輸送機、哨戒ヘリコプター、掃海ヘリコプター等があります。海上自衛隊航空学生は、各課程教育を修了後、これらの航空機に搭乗し、洋上での警戒監視、データ収集、輸送、搜索救難、掃海業務等を担当します。

また、艦載機、救難飛行艇といった海上自衛隊ならではの航空機も活躍しています。通常の航空機は陸上の滑走路から離着陸を行いますが、艦載機は陸上だけでなく艦船からも発艦、着艦できる航空機で、SH-60K(哨戒ヘリコプター)、MCH-101(掃海・輸送ヘリコプター)等がこれに相当します。救難飛行艇とは水面から離水、着水できる航空機で、はるか洋上での船舶乗員の救助等で活躍しています。海上自衛隊のパイロット・戦術航空士の、約70%が航空学生出身者で占められています。



海上自衛隊の組織

- 海上幕僚監部
- 自衛艦隊司令部
- 地方總監部
- ✈ 航空部隊
- ✈ 主な海上部隊
- 術科学校
- 教育隊
- ✈ 教育航空部隊



海上自衛隊航空学生のキャリアアップ

昇任期間（最短の場合）及び身分等

入隊年数	6か月 (18歳)		1年 (19歳)	2年 (20歳)	2年7か月	
階級	2等海士	1等海士	海士長	3等海曹		
身分	航空学生					
給与※	198,800	206,300	212,100	326,784		
(以降、航空手当が含まれます)						
配置	各教育航空群					

※法律の改正により改定される場合があります。

航空学生課程

小月教育航空隊(小月)／1年4か月

◆基礎教育

敬礼、規律、心構え等、自衛官としての基礎的な事項をはじめ、数学、物理、英語や政治学、哲学等も含めた一般教養を中心に学びます。



その後操縦訓練に備え、航空力学、航空気象、航空英語等の専門教育を中心に学びます。また、搭乗員として必要な基礎体力づくりにも重点を置きます。



操縦士基礎課程

第201教育航空隊(小月)

◆操縦士基礎(共通)課程 (約16週)

学生2人に対し、担当教官が指定され、操縦訓練が始まります。課程終盤に本人の適性や希望を踏まえて、固定翼及び戦術航空士の要員に区分されます。



◆操縦士基礎(固定翼)課程 (約17週)

◆操縦士基礎(回転翼)課程 (約11週)

教官が同乗しない単独飛行をはじめ、アクロバット飛行や編隊飛行など、より難易度の高い操縦士技術を学びます。



操縦士要員
(回転翼)

操縦士要員
(固定翼)

戦術航空士要員
(固定翼)



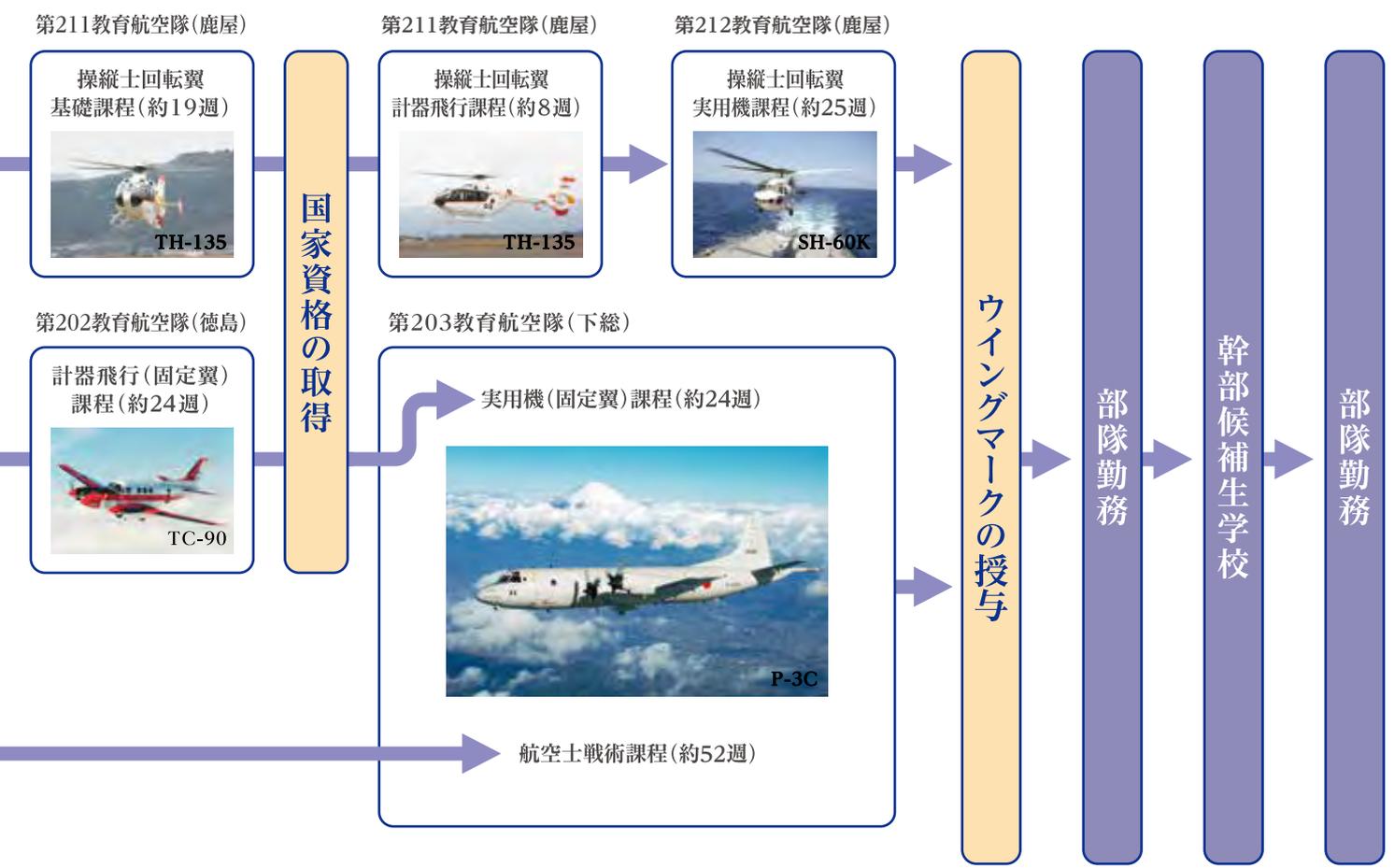
表 真央 候補生

学生 自分を変えられる場所

幼い頃から飛行機が大好きでした。様々な飛行機がある中でも海上自衛隊のUS-2が一番好きで、海上自衛隊航空学生を志願しました。入隊前は厳しい訓練についていけるか不安もありましたが、同期と切磋琢磨しながら、日々の飛行訓練を通じ、苦手なことや、苦しいことから逃げなくなり、自分に自信と誇りが持てるようになりました。今は、大好きな飛行機を操縦できることで毎日が充実しています。将来、人々の生活、幸せを守る操縦士になれるよう、これからも頑張っていきたいと思います。



	4年 (22歳)	5年 (23歳)	5年半	6年 (24歳)
	2等海曹	1等海曹	海曹長	3等海尉
飛行幹部候補生				幹部
	357,420	406,720	413,980	442,580
		各航空隊 部隊実習	幹部 候補生 学校	部隊 勤務



河合航平 3等海尉

先輩

我々の活躍の舞台は、世界の空へ!

空を飛びたいという憧れから、この世界に入りました。我が国の防衛における海上自衛隊航空部隊の使命は、日本周辺海域の警戒監視、ソマリア沖アデン湾での海賊対処行動等であり、全世界で活動しています。また、海外の軍隊との交流や発着艦等、ここでしか経験できないことが数多くあります。私達は、海上自衛隊航空部隊で皆さんと勤務できることを楽しみにしています!

※階級は取材時のものです。

航空自衛隊航空学生の概要



Q 女性でも戦闘機パイロットになれますか？

A 2015年11月に女性自衛官の戦闘機等の配置制限を廃止したため、女性でも戦闘機パイロットになることができます。

Q 目が悪いとパイロットになれませんか？

A 眼鏡を使用しての受験も可能です。遠距離裸眼視力の合格基準は、0.1以上(矯正視力1.0以上)となっています。



ウイングマークの誇り

パイロットまでの道のり

航空自衛隊航空学生とは、航空自衛隊の航空機のパイロットを養成する制度です。瀬戸内海を臨む山口県防府市にある第12飛行教育団に入隊し、約2年間、座学を中心とした基礎教育を受けます。教育修了後、飛行幹部候補生として約2年間の飛行訓練を中心とした操縦教育を経て、パイロットの資格を取得。その証として「ウイングマーク」を授与されます。その後、4か月から1年で戦闘機、輸送機、救難機に分かれて教育訓練を受けて、各部隊に配属されます。

受け継がれる「3気精神」

航空自衛隊航空学生に代々受け継がれているモットーに「3気精神」があります。それは、目標に向かって積極果敢にまい進する意志を表す「やる気」。はつらつと、さっそうと物事に取り組む心身の活力を表す「元気」。日々強い信念を持って切磋琢磨する姿勢を表す「負けん気」です。戦闘機はマッハを超える超音速で飛びます。コックピットでは自ら周囲の状況を的確に把握しながら判断を下し、行動します。気の緩みや判断の迷いは許されません。いわば3気精神は、将来、戦闘機操縦者として常に要求される要素を簡潔に表現しているわけです。現在活躍している先輩たちも任務を通して、この「3気精神」がいかに重要であるかを日々認識しています。

待遇等

- 身分 特別職国家公務員
- 初任給 198,800(高卒)／209,500円(大卒)(地域手当等を除く。)に加え、宿舍費は無料で、食事、制服・作業着・ワイシャツ・靴その他の衣服類、寝具等も支給又は貸与されます。
※初任給は、学歴・職歴等により異なります。
※大卒者の初任給は、複数年かけて217,000円まで引き上げられる予定です。
- 手当 航空手当、扶養手当、住居手当等
- 昇給 年1回
- 賞与 期末・勤勉手当(ボーナス)年2回(6月・12月)
- 年金等 退職手当、老齢厚生年金、退職等年金給付、若年定年退職者給付金、障害厚生年金、公務災害補償等
- 福利厚生 防衛省共済組合施設(宿泊、野球場、テニスコート等)

国家資格の取得

基本操縦課程修了時に国家資格である固定翼の事業用操縦士の資格を試験により取得することができます。また、その後、回転翼パイロットに進む者はその後の救難操縦課程において、試験により回転翼の事業用操縦士の資格も取得することができます。

防衛省航空幕僚監部 人事教育部 募集・援護課募集班
〒162-8804 東京都新宿区市谷本村町5-1 TEL 03-3268-3111(代表) 内線 60238

航空自衛隊航空部隊

スペシャリストの自覚と責任



航空自衛隊のミッションとフィールド

航空自衛隊とは、侵入してくる航空機や海を渡って上陸を果たそうとする外敵に対して、空から対処し、わが国の防衛にあたります。また、平時より航空機や防空レーダーによる警戒態勢をとり、外敵の侵略を未然に防いでいます。この重要な使命を担う組織は、飛行部隊、警戒管制部隊、地对空誘導弾部隊等からなり、航空自衛隊員たちが北部航空方面隊、中部航空方面隊、西部航空方面隊、南西航空方面隊等で、約30種に及ぶ職域に従事しています。

また、航空自衛隊では、輸送機、ヘリコプター等による災害派遣、国連平和維持活動における空輸支援、政府専用機による国賓輸送、在外邦人の輸送等の海外運航等においても活躍しています。

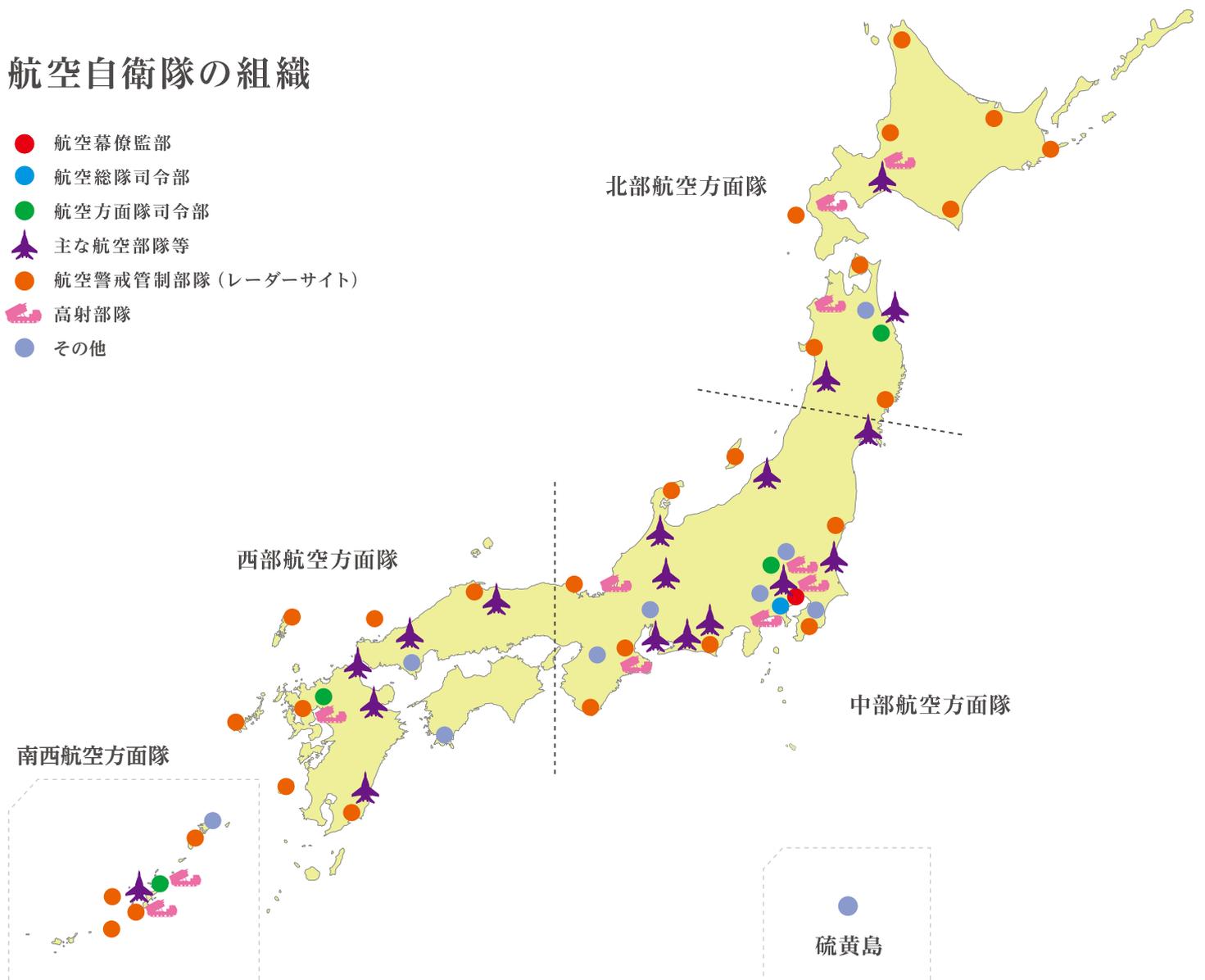
航空学生出身者の活躍

航空自衛隊が所有する航空機には、目的に応じて、戦闘機、早期警戒(管制)機、輸送機、救難捜索機、救難ヘリコプター等があります。航空自衛隊航空学生は卒業後、これらの航空機に搭乗し、防空戦闘、人員物資の輸送、捜索救助等の業務を担当します。なお、ブルーインパルスは航空自衛隊の展示飛行チームで、宮城県松島基地の第4航空団の所属、正式名は第11飛行隊です。チームメンバーのほとんどが航空自衛隊航空学生の出身者です。



航空自衛隊の組織

- 航空幕僚監部
- 航空総隊司令部
- 航空方面隊司令部
- ✈ 主な航空部隊等
- 航空警戒管制部隊 (レーダーサイト)
- ✈ 高射部隊
- その他



航空自衛隊航空学生のキャリアアップ

昇任期間（最短の場合）及び身分等

入隊年数	6か月	1年	2年	
階級	2等空士	1等空士	空士長	3等空曹
身分	航空学生			
給与※	198,800	206,300	212,100	220,800
				333,408
	（※戦闘機要員となった場合の一般的な俸給等の一例です）			（以降、航空手当が含まれます）
配置	航空学生教育群			

※法律の改正により改定される場合があります。

航空学生課程

第12飛行教育団(防府北)／2年

2年間の教育内容について

1年目は数学、物理、航空電子、情報処理及び倫理学や法学等も含めた一般教養を中心に、自衛官としての基礎的事項(敬礼、規律、心構え等)についても学びます。体育は筋力トレーニングや持続走に加えて、遠泳やサッカー等基礎体力の充実を目指した内容になっています。なお、英語に関しては2年間を通じて初級から順次レベルを上げていきます。2年目は航空気象、航空力学、機体構造論、航空原動機等、操縦教育に備えるための専門的な内容に加えて、各種事例研究により、将来の幹部自衛官として必要な事項を学びます。また、体育は器械体操、競泳等で身体能力のさらなる向上を図ります。



飛行準備課程

第12飛行教育団(防府北)／約5か月～11か月

約6か月間の飛行準備課程

2年間の基礎教育を終えた学生は、飛行訓練の前に約5か月～8.5か月の飛行準備課程に入ります。ここで英語、航空法規、航空気象、空中航法等、飛行に必要な知識の習得に努めます。また、陸上自衛隊習志野駐屯地で約10日間にわたる落下傘降下準備訓練や遠心力発生装置を使った耐G訓練や低圧力環境での航空生理訓練等を実施します。



初級操縦課程

第11飛行教育団(静浜)／約6か月
第12飛行教育団(防府北)／約6か月

初飛行、そして単独飛行へ

初級操縦課程は約6か月にわたり、T-7型航空機を使った飛行訓練を1日あたり1～2回行います。ここで担当教官とともに有視界飛行による基本的な操縦法を習得します。まず、単独飛行訓練に向けて、“離陸→飛行場上空を一周→着陸”を繰り返す訓練を約3週間にわたって徹底的に訓練します。その後単独飛行、降下、旋回等のアクロバット飛行、計器飛行、編隊飛行と、順次、難易度の高い飛行技術を学びます。課程の総仕上げとして検定試験が行われ、合格した者は本人の適性や希望を踏まえて、戦闘機及び輸送機・救難機等の要員に分けられ、戦闘機要員はT-4を使用する基本操縦課程、輸送機・救難機要員はT-400を使用する基本操縦課程へそれぞれ進みます。



八木義樹 3等空尉

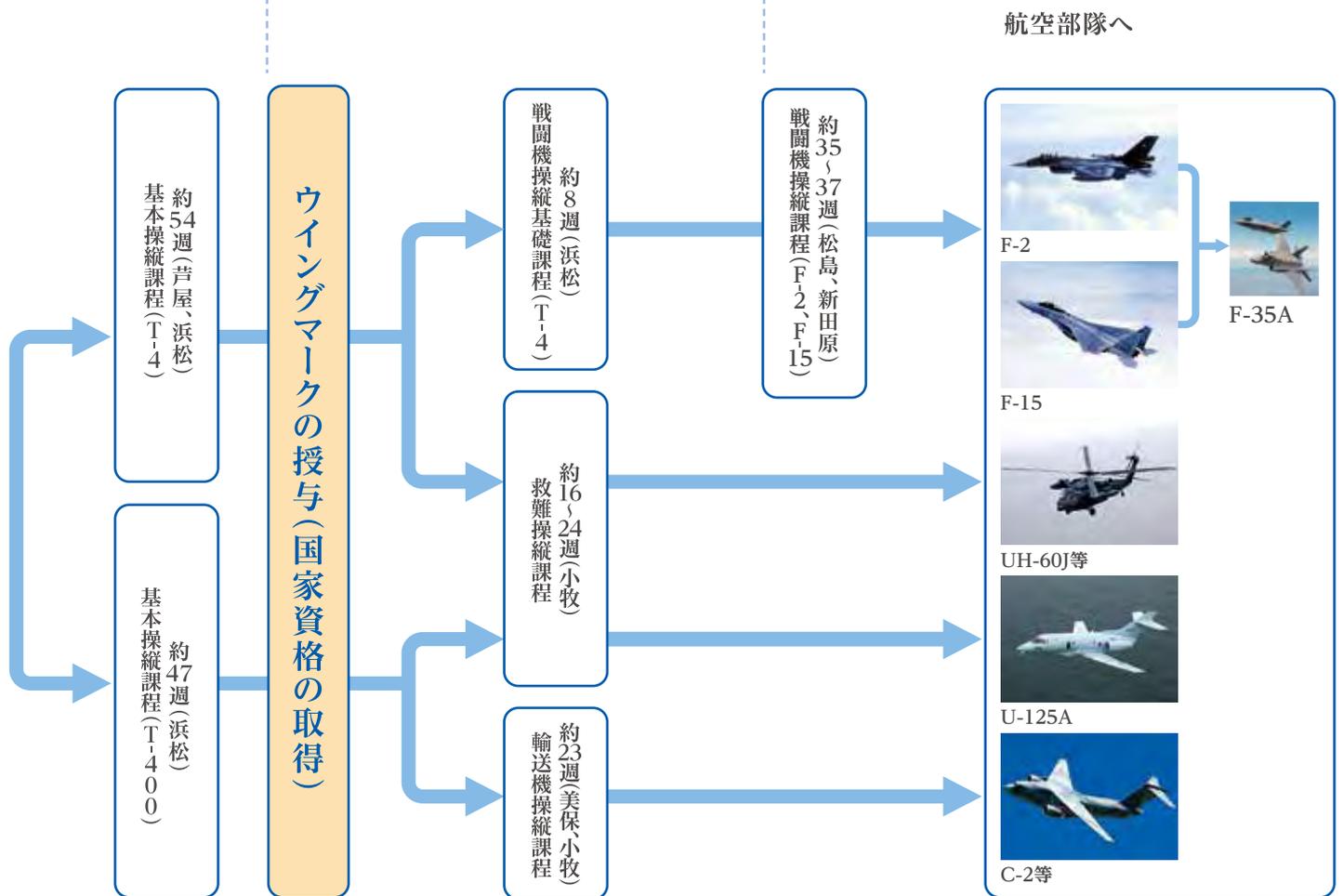
学生

やり甲斐のある
仕事

私は小学生の時に航空祭で見たF-15戦闘機に憧れ、戦闘機パイロットを志しました。高校を卒業後、「航空学生」の道を選び練習機での飛行訓練を経て目標であったウィングマークを取得しました。その時の達成感と高揚感は今でも忘れられません。F-15戦闘機操縦者への道は決して平坦ではありませんが、この大空の中、国防の最前線に立って働けることは誇りであり、大きなやり甲斐のある仕事だと感じています。これからも日本の空を護っている最強のパイロットを目指して日々、任務及び訓練に精進していきます。 ※階級は取材時のものです。



2年7か月		4年		5年		6年	
2等空曹		1等空曹		空曹長		3等空尉	
飛行幹部候補生							
364,665	384,463	414,427		421,903		523,770	
各飛行教育部隊				幹部候補生学校		(戦闘機要員)	
						部隊勤務	



土田航平 1等空尉

先輩 夢を現実に

私が航空学生を希望したのは航空祭に行ったことがきっかけでした。以降は戦闘機操縦者になることだけを夢見て努力の日々でした。飛行準備課程に入校してからは毎日フライトの勉強やイメージトレーニングに励み自己の能力の向上に努めました。

部隊に配属された以降は対領空侵犯措置任務を実施しました。初めて他国の航空機を間近で見るときの強く緊張したことを覚えています。日々の訓練は決して楽ではありませんが、いざという時のために厳しい訓練をしていると考えるとやり甲斐を感じます。一緒に日本を守りましょう。 ※階級は取材時のものです。

キミの明日が、ここにある。

インターネットからも応募できます。
詳しくは自衛官募集ホームページへ。

<自衛官募集ホームページ>
(航空学生)



<自衛官募集X(旧ツイッター)>



<海上自衛隊Instagram>



<海上自衛隊募集X(旧ツイッター)>



<航空自衛隊ホームページ>



<航空自衛隊X(旧ツイッター)>



●お問い合わせは下記の自衛隊地方協力本部へ